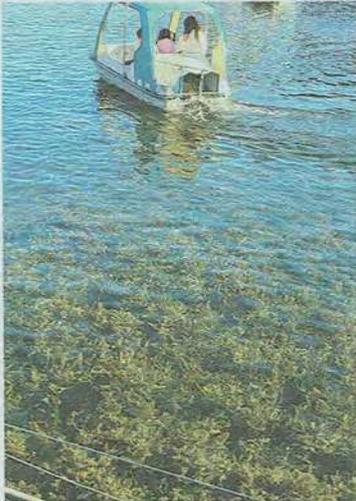


井の頭池 外来水草の勢力拡大

「モネの池」に助け船



井の頭池の群
コカナダモの28
= 11月、いずれも
日、東京都三鷹市
東で

外来種の刈り取りをして
いるのは、井の頭池を構成
する三つの池のうちの弁天
池。藻刈り船は作業員一人
で操作する小型のもので、

東京都三鷹市の都立井の頭恩賜公園の井の頭池に都内では珍しい「藻刈り船」がお目見えし、話題になっている。池で繁殖を拡大している外来種の水草「コカナダモ」を駆除するため、都建設局西部公園緑地事務所が先月末、試験的に導入した。事務所の担当者は「都内の公園で藻刈り船を出すのは初めてではないか」と話す。作業は八日ごろまで続く。(花井勝規)

藻刈り船導入し駆除



外来種の水草駆除のため井の頭池に初投入された藻刈り船。水に浮かぶ農機のような=11月29日

鮮やかなオレンジ色の船体の前部に付いたカッターを上げ下げして水草を刈り、コンペヤーで運び上げている。紅葉を楽しむ来園者らが珍しい光景に足を止め、盛んに写真を撮っている。

かつて水の汚濁が指摘されてきた井の頭池は、水を抜いて池底を干し上げる「かいぼり」をこれまでに三度経て水質が改善。二〇一九年初夏には、環境省が絶滅危惧種に分類する水草「ツツイトモ」が池を覆うように繁殖し、美しい池の様子が「モネの池のよう」と話題となった。しかし、コカナダモが昨

年から繁殖範囲を池全域に広げるようになり、ツツイトモを脅かしていることが今夏の事務所の調査で分かった。事務所の永田雅之工事課長は「早めに手を打った方が良いという専門家のアドバイスもあり今回、試験的に投入した。一日で五、六割刈り取れるので人手による駆除に比べ効果的だ。今後、効果を検証したい」と語る。

水生植物の生態に詳しい東京農工大グローバル教育院講師、片桐浩司さんは「コカナダモは繁殖力が強く、ツツイトモなど外来種の大きな脅威だ。藻刈り船は水深一・二メートルまでしか刈り取れず、完全駆除は難しい。費用対効果を見極め、かいぼりも検討した方がいい」と話している。環境省の皇居外苑管理事務所によると、皇居のお堀では毎年のように藻刈り船を出し、水草の除去作業をしている。